EUROLIVE E1220A/E1520A

取扱説明書

A50-71532-00001

ja

www.behringer.com

安全にお使いいただくために

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が通じています。手を触れると感電の恐れがあります。

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用の前に良くお読みください。

注意

☞ 感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。 製品内部には手を触れず、故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。

☞ 火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

☞ これらの指示は、資格のあるサービス技術者に向けたものです。感電の危険を防ぐため、有資格者以外は、装置の操作方法に記載された内容以外の整備は、行わないようにしてください。

通気:

☞ スピーカーボックスは、通気のための十分なスペースのある場所に設置してください。ベッドやソファなど通気孔が塞がるような場所には置かないでください。また、通気が妨げられるようなシェルフやキャビネットには取り付けないでください。

地面の状態を確認しましょう:

☞ スピーカーボックス設置の前に必ず土台となる地面または床面がスピーカーの過重に耐えられるかどうかを確認してください。大道具など、振動しやすい床面はボックスの積み上げには向きません。スピーカーボックスは基本的に水平かつ丈夫な床面上に設置してください。

スピーカーボックスは安全な位置に設置してください:

☞ スピーカーボックスはダンスフロアや通行の多い場所から充分な距離をおいて設置しましょう。これによって、スピーカーボックス落下の原因となる、激突などの事故を避けることができます。

1) 取扱説明書を通してご覧ください。

2) 取扱説明書を大切に保管してください。

3) 警告に従ってください。

4) 指示に従ってください。

5) 本機を水の近くで使用しないでください。

6) お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

7) 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。

8) 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9) 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯)プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広くなっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10) 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11) すべての装置の接地(アース)が確保されていることを確認して下さい。

12) 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに手に届く場所に設置して下さい。

13) 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14) ート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15) 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16) 電源コードまたはプラグが損傷した場合、本気内部に異物や水が入った場合、雨や水分で濡れた場合、本機が正しく作動しない場合、もしくは本機を落下させてしまった場合は、当社指定のサービス技術者に修理をご依頼ください。

WARNING

THIS EQUIPMENT IS CAPABLE OF DELIVERING SOUND PRESSURE LEVELS IN EXCESS OF 90 dB, WHICH MAY CAUSE PERMANENT HEARING DAMAGE.

1. はじめに

BEHRINGER E1220A/E1520A スピーカーのお買い上げ、誠にありがとうございます。この非常に堅牢かつ高出力なスピーカーは、DJ やプレゼンテーターによる使用を念頭に開発されています。この EUROLIVE シリーズ製品は、その優れた性能、耐久性、および容易な運搬性によって、これまで幅広いユーザーの方々に支持されてきました。400 W の大出力、ワイドな周波数帯域、そして包括的なダイナミックレンジをもつこのサウンド強化スピーカーが、驚きのサウンドを提供します。パワフルなロングエクスカージョンドライバが図太い中／低域を表現し、最先端の 1 インチ HF ドライバが決め細やかな高音を再現します。各スピーカーに内蔵されたサウンドプロセッサーが最高の信頼性を実現、究極のシステムコントロールとスピーカー保護をお約束します。柔軟なキャビネットシェイプを採用しているため、直立に設置しての使用も、フロアモニターとして傾けての使用も可能となっています。非常に高い耐久性を誇っているため、どんなに過酷な運搬状況下でも長年に渡ってご使用いただくことができるでしょう。

1.1 ご使用の前に

1.1.1 出荷

E1220A/E1520A は、安全な輸送のために工場出荷時に十分な注意を払って梱包されていますが、万が一包装ダンボールに損傷が見られた場合には、装置外面部の損傷もご確認ください。

☞ **装置が万一損傷している場合には、保証請求権が無効となる恐れがありますので、製品を当社へ直接返送せず、必ず販売代理店および運送会社へご連絡下さい。**

☞ **本製品の保管や運送の際には、製品への損傷を避けるため、常にオリジナルの梱包を使用するようにしてください。**

☞ **製品および梱包材などは、お子様の手の届かないところに保管してください。**

☞ **梱包材などの環境保護に適した廃棄を心がけてください**

1.1.2 スタートアップ

E1220A/E1520Aの過熱を防ぐため、十分な換気の確保に留意し、装置を暖房などのそばに接地することはお避け下さい。

☞ **安全装置が故障している場合は、正しい値の安全装置と交換して下さい。設定値に関しては「テクニカル・データ」の項目をご覧下さい。**

電源への接続には付属の標準型 IECコネクター付きケーブルを使用して下さい。このケーブルは必要な安全基準を満たしています。

☞ **すべての装置の接地（アース）が確保されていることを確認して下さい。使用者自身の安全のため、電源ケーブルや装置自体のアースを取り外したり使用不能とすることは絶対にお止め下さい。**

☞ **電波の強い放送局や高周波音源の範囲内では、音質が減退する可能性があります。その場合は、送信機と機器の距離を離し、すべての接続にシールドケーブルを使用してください。**

注意

☞ **スピーカーは大きな音量が出るように設計されています。音圧が高いと耳の疲れを早めるだけでなく、聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。適度な音量でお使いください。**

2. サービスメニューと接続
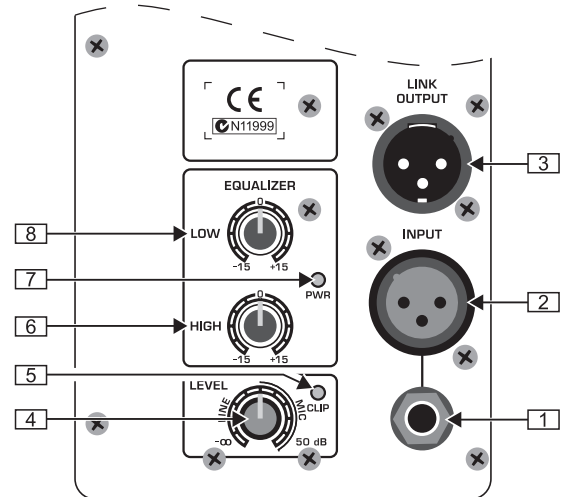
図 2.1: サービスメニューと接続（E1220A と E1520A）

[1] この 6.3 mm ステレオジャック端子はジャック出力付きの信号ソースとの接続に使用します。

[2] この XLR端子は、XLR出力付きの信号ソース用の左右対称入力です。

☞ **XLR入力またはジャック入力を使用し、LEVELコントローラー [4] で入力感度を調節します。 決して、2つの入力を同時に使用しないでください。**

[3] *LINK OUTPUT*出力は、E1220A/E1520Aの入力と直接接続しており、未変調の入力信号を伝送します。そのため、信号を他の機器の入力(2台目のE1220A/E1520Aなど) に送ることができます。

[4] *LEVEL*コントローラーで、ライン信号とMIC信号の音量を調節します。レベルの高いライン信号は調節帯域の左半分で弱め、レベルの低いMIC信号は右半分で強めます。

[5] 信号が過変調すると、*CLIP*-LEDが点灯します。CLIP-LEDが消灯するか、あるいは高い信号でのみ点灯するまで、LEVELコントローラーで音量を下げます。

☞ **音量が大きいと聴力に悪い影響を与え、ヘッドフォンやスピーカーの故障につながることがあります。機器をオンにする前に、LEVELコントローラーを左の目盛りまで回してください。適度な音量でお使いください。**

[6] *HIGH*コントローラーで高音を調節します。

[7] スピーカーがオンになると、*PWR*-LEDが点灯します。

[8] *LOW*コントローラーで低音を調節できます。

ja

図 2.2: サービスメニューと接続 (E1220A と E1520A)

[9] 電源への接続には標準コネクターを使用します。この装置には適合する電源コードが付属しています。低音のブーミングを防ぐために、スピーカーボックスとミキサーは同じ回路から電力を供給します。

[10] E1220A/E1520A のヒューズホルダーでは、ヒューズを交換することができます。古いヒューズは、必ず同じタイプのヒューズと取り替えてください。ヒューズについては第7章「テクニカルデータ」に記載があります。

[11] *POWER*スイッチにより、E1220A/E1520Aの操作を始めてください。

☞ **注意:POWERスイッチを切っただけでは、電源が完全に切れたことにはなりませんので、長い間本ユニットを使用しない場合は電源コードをコンセント(主電源)から抜いてください。**

[12] シリアルナンバー

3. 使用例

☞ **POWERスイッチでボックスをオンにする前に、LEVELコントローラーを左の目盛りまで回してください。その後で、音量を適切なレベルまで上げてください。**

3.1 ミキサーの使用

標準的な使い方は、E1220A/E1520Aスピーカーボックス2台をミキサーと接続して使用する方法です。ミキサーのメイン出力の1つを両方のE1220A/E1520Aの入力の1つとそれぞれ接続します。E1220A/E1520Aの入力はXLR接続、または左右対称ジャック接続です。音割れとノイズを防ぐために、左右対称XLRケーブル、または左右対称ジャックケーブルの使用を推奨します。

3.2 複数のE1220A/E1520Aの使用
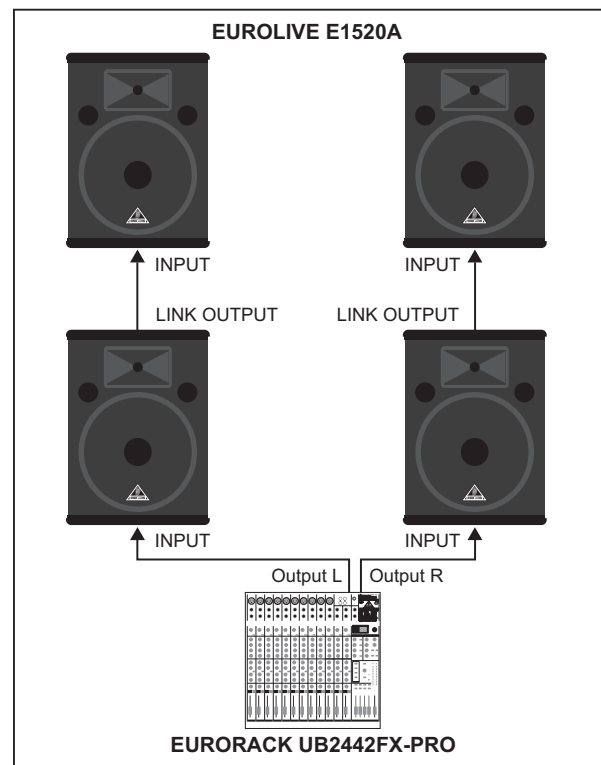
図 3.1: LINK OUTPUT接続を使った複数の E1220A/E1520A の接続

広い場所でご使用になる場合などは、複数のE1220A/E1520AをLINK OUTPUT接続で [3] 連結することができます (図 3.1を参照ください)。

3.3 ステレオ信号ソースの直接接続

E1220A/E1520Aを2台使用する場合は、CDプレイヤーなどのステレオ信号ソースを直接接続することができます。この場合は、スピーカー1台を信号ソースの1つの出力と接続します(必要な場合は専用のアダプタをお使いください)。

4. インストール

ベリンガーE1220A/E1520Aのオーディオ入力とLINK OUTPUT接続は左右対称に取り付けられています。他の機器と左右対称の信号伝送を行う際に使用して、妨害信号補正を最大化します。

**ステレオフォンジャックによる
バランス型接続**

バランス型端子をアンバランス型として使用する場合にはリングとスリーブを接続してください。

図 4.1: 6,3-mmステレオジャックソケット

XLR コネクターによるバランス型接続

アンバランス使用の際には Pin 1 と Pin 3 を接続してください。
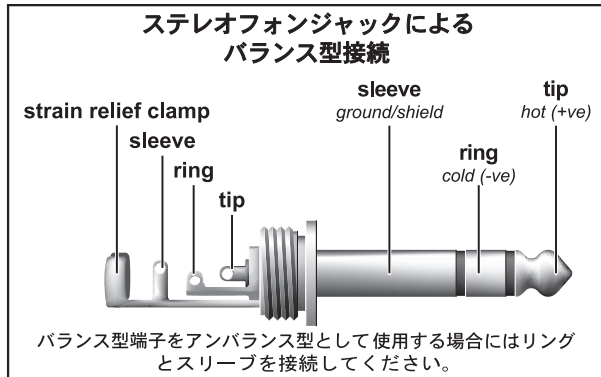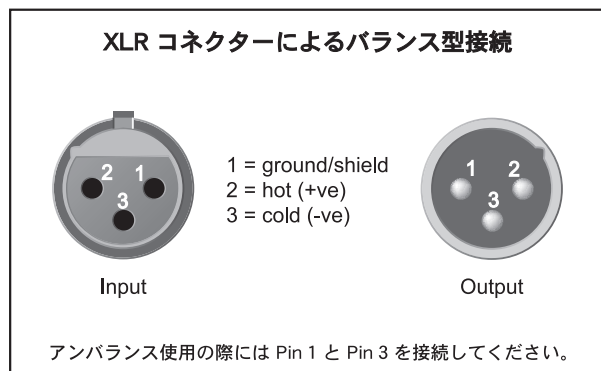
図 4.2: XLRソケット

☞ **機器のインストールとサービスは、必ず専門家だけが行うように注意してください。インストールの間そしてその後も操作する人は、常にアースするように注意してください。さもないと、静電気の漏洩によりシステムの特徴が損なわれる可能性があるからです。**

5. テクニカルデータ

出力

低周波帯域

RMS @ 1% THD	200 W @ 8 Ω
最大出力	320 W @ 8 Ω

高周波帯域

RMS @1% THD	50 W @ 8 Ω
最大出力	80 W @ 8 Ω

入力

XLR接続 (サーボ左右対称化)

感度	-40 ～ +4 dBu
入力抵抗	24 kΩ

6.3mmジャック (サーボ左右対称化)

感度	-40 ～ +4 dBu
入力抵抗	24 kΩ

リンク出力

XLR接続

システムデータ

E1220A

周波数帯域	60 Hz ～ 20 kHz
クロスオーバー周波数	2.2 kHz (12 dB)
最大音圧	124 dB @ 1 m
リミター	オプティカル
ダイナミック・イコライザー	プロセッサー制御

E1520A

周波数帯域	50 Hz ～ 20 kHz
クロスオーバー周波数	2 kHz (12 dB)
最大音圧	125 dB @ 1 m
リミター	オプティカル
ダイナミック・イコライザー	プロセッサー制御

イコライザ

高域	12 kHz / ± 15 dB
低域	80 Hz / ± 15 dB

電源

電圧/ヒューズ

100 - 120 V~, 50/60 Hz	T 5.0 A H 250 V
220 - 230 V~, 50/60 Hz	T 2.5 A H 250 V
入力	最大 400 W
回路接続	標準常温機器接続

外形寸法/質量

E1220A

外形寸法 (高さ x 幅 x 奥行)	約 400 x 410 x 585 mm
質量	約 22.3 kg

E1520A

外形寸法 (高さ x 幅 x 奥行)	約 465 x 485 x 640 mm
質量	約 26.3 kg

BEHRINGER 社は、最高品質水準の維持にむけた努力を常時おこなっています。必要とみなされた改良等は予告なくおこなわれますので、技術データおよび製品の写真が実物と多少相違することがあります。